

(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業に係る
展示設計の概要について(資料)

本資料は、宇治市歴史的風致維持向上計画に記載している「歴史的風致の維持向上に資する事業」の内、「3.情報発信・観光交流施設整備事業」として進めている(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業において、昨年度から設計に着手しています「宇治の歴史・文化」や「宇治茶の魅力」を情報発信する施設の展示設計(ミュージアム部分)の概要書です。

展示設計の内容につきましては、庁内の関係部局をはじめ、本協議会の委員及び茶業関係者等からのご意見を踏まえながら、検討を進めてまいりました。

今後は、こちらの設計内容を基にして、展示の詳細部分について更に検討してまいりますので、引き続きご意見をいただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点がありましたら、歴史まちづくり推進課までご連絡いただきますようお願いいたします。

取扱注意

(仮称) お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業

展示設計概要書



配置図

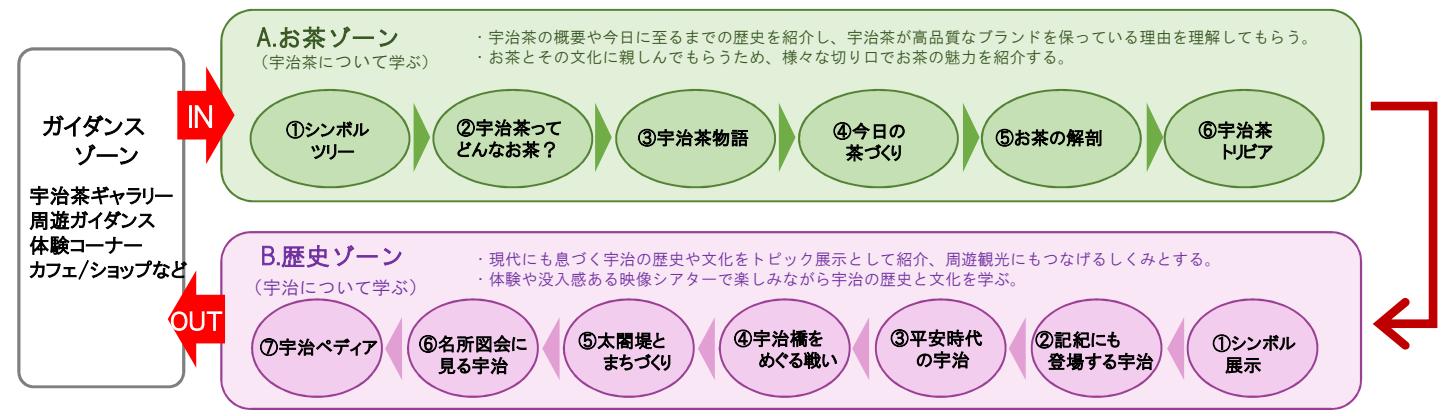


1階平面図

展示構成の考え方

宇治茶を中心とした宇治の歴史文化を紹介。
宇治の魅力を伝える展示とします。

- 2大テーマである「宇治茶」と「宇治の歴史文化」の2つのゾーンで空間を構成する。
- 「お茶のまち・宇治」のイメージを最初に掴んでもらうために、まずお茶ゾーンで「宇治茶」の概要やその価値、魅力について紹介する。
- 歴史ゾーンでは、「平安時代」「宇治橋」などの観光客にも馴染み深いものや、現代のまちとの関係が深いものを紹介し展示観覧後の周遊につなげるしくみとします。



●歴史ゾーン

①シンボル展示
歴史展示の導入として巨大10円玉を配置。来館者の意識の切り替えを行うとともに、今日の平等院との違いについても伝える

②記紀にも登場する宇治
菟道稚郎子について紹介し、記紀の時代から歴史に登場することを伝える。(宇治神社、宇治上神社も紹介)

③平安時代の宇治
平安時代に藤原氏によって宇治が「極楽浄土」として整備されたことを紹介する。

④宇治橋をめぐる戦い
幾度も合戦の舞台になった「宇治橋」に焦点を当てた歴史を紹介。

⑤太閤堤とまちづくり
太閤堤が整備された目的とその様子、発掘の歴史について映像で紹介する。

⑥名所図会に見る宇治
近世における宇治が既に観光地として発展していたことを伝え、今日につながる観光名所を名所図会とともに紹介する。

⑦宇治ペディア
宇治の歴史や観光にまつわるあらゆるトピックを紹介する。来館記念の写真を撮れるフォトスポットを設置する。



●お茶ゾーン

①シンボルツリー
展示室への導入として、お茶の木を象徴的に展示。同時に壁面にお茶にまつわる様々なシーンを投影。

②宇治茶ってどんなお茶？
宇治茶の概要を歴史とともに伝えることにより、宇治のお茶づくりが日本全国に広まったことを伝える。お茶の種類は歴史とも関わりがあることを伝える。

③宇治茶物語
宇治での茶づくりはいつ始まり、どのようにブランド茶として確立したのかを歴史を追って紹介する映像。壁面ではお茶壺道中や製茶道具の解説を行い、江戸時代には既に宇治茶がブランドとして確立していたことや、製茶における手間などを感じてもらう。

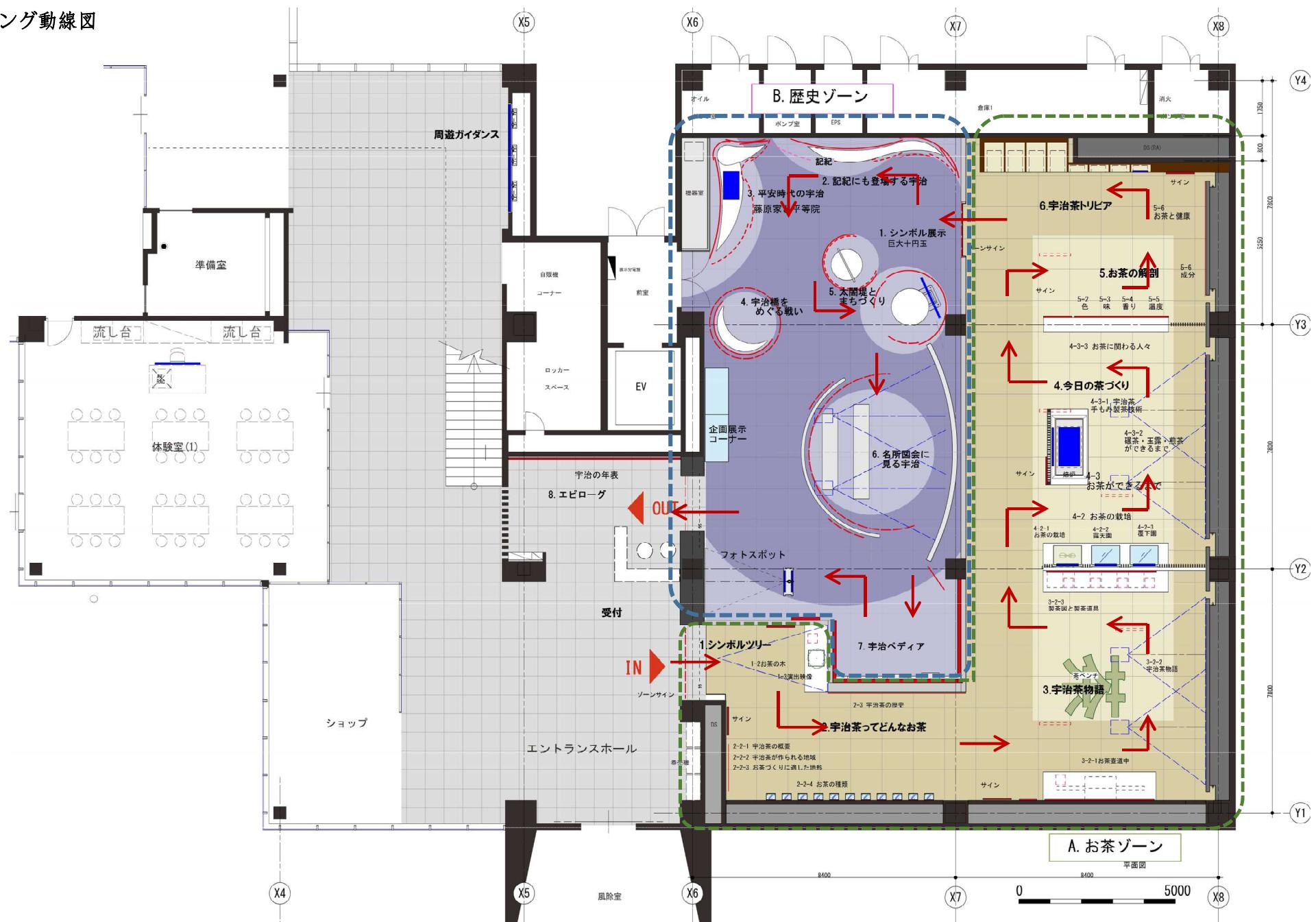
④今日の茶づくり
今日では作業の一部が機械化されていることを伝えるとともに、宇治では現在でも本手を使いたい覆下栽培や手もみ製法など、お茶の味・香などの品質を保つために手間を掛けたお茶づくりが行われていることを伝える。

⑤お茶の解剖
お茶を科学的に解剖。色や味、香り、成分、効能等、何気なく感じているものを分析し、宇治茶の秘密に迫る。

⑥宇治茶トリビア
お茶の淹れ方や飲用以外のお茶の利用方法について紹介。お茶を使ったことわざ、広告・アートなどお茶にまつわる様々なモノ・コト・文化を紹介する。

⑦宇治の生活とお茶の密接な関係
宇治の生活とお茶の密接な関係を紹介する。

■ゾーニング動線図



全体イメージ



Aお茶ゾーン



歴史ゾーンイメージ



■お茶ゾーン展示展開イメージ

●シンボルツリー

- ・展示室への導入としてお茶の木を象徴的に展示し、背景に宇治らしいお茶のある風景を次々に投影する。
- ・展示への期待感を高めつつ、「宇治らしさ」を演出する。

・シンボルツリーイメージ



■お茶ゾーン展示展開イメージ

●宇治茶ってどんなお茶？

- ・宇治茶の概要を歴史とともに伝えることにより、宇治で作られたお茶が日本全国に広まつていったことを伝える。
- ・お茶の種類は歴史とも関わりがあることを伝える。

・宇治茶ってどんなお茶？イメージ



お茶の種類（実物展示）
実際の茶葉に触れて
においを嗅ぐことが可能

宇治茶とは

- ・「宇治茶の概要」「宇治茶が作られる地域」「お茶づくりに適した地形」「お茶の種類」をグラフィックで紹介。
- ・「お茶の種類」では、お茶はすべて1種類の木から作られ、製造方法によって異なるお茶となることを実物の茶葉を合わせて展示して紹介する。

宇治茶の定義

「宇治茶」

宇治茶は、歴史・文化・地理・気象等総合的な見地に鑑み、宇治茶として、ともに発展してきた当該産地である京都・奈良・滋賀・三重の四府県産茶で、京都府内業者が府内で仕上加工したものである。

ただし、京都府産を優先するものとする。

【参考】▶ [「宇治茶」の商標登録証](#)

宇治茶の定義は商標登録されたものを使用。(地域団体商標 登録第5050328号 宇治茶)

宇治茶の歴史

- ・宇治でお茶が栽培されるようになってから今日に至るまでの歴史をグラフィックで紹介。
- ・年表形式の解説だけでなく、時代ごとの重要トピックを大きくとりあげて写真とともに解説することで、宇治茶がどのようにブランド形成されてきたのか、お茶の歴史においてどれだけ重要な役割を担っていたのかを伝える。

【主要トピックイメージ】

鎌倉時代	栄西が『喫茶養生記』を発表 明惠が梅尾で茶の栽培を開始 その後宇治にも茶の栽培を伝え、宇治茶の歴史が始まる。 鬪茶の流行
室町時代	将軍の庇護を受け発展。 「無上」「別儀」という初期ブランド茶が誕生 宇治七茗園の成立 宇治市に覆下茶園が出現(日本固有の抹茶の誕生) 安土桃山時代 豊臣秀吉 宇治郷に対して「禁制」をだし、その特権を認める
江戸初期 江戸中期 江戸後期	お茶壺道中が制度化される 永谷宗円が宇治製法(青製煎茶製法)を発明 江戸で流行し全国に宇治茶製法が拡がる 玉露の誕生 覆下栽培の拡大

●宇治茶物語

- ・宇治での茶づくりはいつ始まり、どのようにブランド茶として確立したのかを歴史を追って紹介。
- ・映像と音を中心とした没入感のある映像とする。
- ・お茶壺道中や製茶図と製茶道具の解説を壁面で行い、江戸時代に宇治茶が既にブランドとして確立していたことや、製茶における手間などを感じてもらう。



・宇治茶物語

- ・宇治での茶づくりはいつ始まり、どのようにブランド茶として確立したのかを歴史を追って紹介。
- ・「御茶壺之巻」「製茶図」「日本山海名物図会」などを活用しながら、ダイナミックな3DCG映像と音を中心にした没入感のある映像とする。

●コンテンツ展開案

「製茶図」や「御茶壺道中の巻」をアニメーション映像の中に取り入れ、描かれていた人物が動き出す。時代の流れをテキストやグラフィックを駆使し、大型スクリーンで宇治茶の歴史を伝える。



※イメージ図



※イメージ図

1. お茶の伝来

12世紀後半、中国から宋西禅師によってお茶が伝わり、明惠上人は茶種を宇治に植えた。これが宇治茶栽培の始まりである。宇治は土質、地形等自然条件に恵まれていたことから、急速に栽培が拡大した。

2. 日本のトップブランドへ

14世紀になると、足利義満によって「宇治七名園」と呼ばれる七つの指定茶園を作り、一層茶栽培が盛んになった。このようにして育った宇治茶は足利將軍家や天皇家の庇護を受け、日本のトップブランドへ。

3. 覆下茶園の登場

16世紀後半には、宇治で茶園全体を藁などで覆った覆下茶園が登場。日本固有の抹茶が誕生した。このころ豊臣秀吉が茶大会を催したり、千利休が「茶の湯」一つである「侘び茶」を大成させた。

4. 御茶壺道中制度

17世紀、徳川家康は宇治茶を好み、宇治から江戸へと茶葉を取り寄せていました。その後も徳川将軍家に愛され続け、新茶を宇治から江戸まで運ばせる「御茶壺道中」が制度化。数百人にも及ぶ大行列が片道12,3日かけ、御茶壺を運んだ。

5. 煎茶、玉露の登場

やがて、宇治の抹茶づくりの技術を応用した新しい煎茶が登場する。さらには覆下茶園から摘採した茶葉を煎じた製茶技術の至高ともいわれる玉露が誕生。宇治茶は世界中に輸出されるようになった。

6. お茶の栽培風景①

歴代の天皇家、將軍家に愛されてきた宇治茶の栽培は独特なものである。まず、平鍬を使って土を起こし、円を描くように種を蒔く。すくすくと育った茶株には肥桶を使って肥料を撒く。

7 お茶の栽培風景②

春先、茶摘み 20 日ほど前になると、茶園全体を藁やムシロなどで覆う覆下栽培。霧や日差しを防ぐ。茶摘みでは多くの茶摘み女が集まり一斉に茶を摘む。

8. お茶の加工風景

生葉は蒸籠に小分けにした後、釜の上で湯気に晒す。碾茶の場合、ネンで葉をすくい上げ茶葉を乾燥させる。玉露の場合、茶葉を揉み、針のように尖った状態に仕上げる。

9. 現代から未来へ

機械化が進んだ今もなお、当時の工程を受け継ぎ、約 700 年間にわたって茶産業を牽引してきた「日本茶のふるさと」宇治は、その技術を日本中に広めえた歴史とその文化的景観を、これからも守り継承していく。



・お茶壺道中

お茶壺道中の様子を描いた「御茶壺之巻」を元に、お茶壺道中について紹介。
お茶壺を運ぶ籠の模型を設置し、写真スポットとする。



御茶壺道中解説

お茶壺道中模型



御茶壺之巻

・製茶図と製茶道具

明治期の製茶図と製茶道具を展示。
当時の製茶の様子と製茶道具をゆっくり見比べられるようにする。



書割パネル
グラフィック

製茶道具展示



4枚の製茶図(明治期)を紹介

●今日の茶づくり

- ・今日では作業の一部が機械化されていることを伝えるとともに、
宇治では現在でも本ずを用いた覆下栽培や手もみ製法など、お茶の味・香などの品質を保つために手間を掛けたお茶づくりが行われていることを伝える。



・お茶の栽培

- ・お茶の栽培方法として「露天園」「覆下園」を紹介し、宇治ならではの栽培や特徴を理解してもらう。
- ・宇治で作られる玉露や碾茶は覆下園での栽培を行った上で手摘みで茶摘みをするという手間をかけ栽培していることを伝える。



・お茶の栽培

- ・お茶の栽培方法として「露天園」「覆下園」を紹介し、宇治ならではの栽培や特徴を理解してもらう。
- ・宇治で作られる玉露や碾茶は覆下園での栽培を行った上で手摘みで茶摘みをするという手間をかけ栽培していることを伝える。

タイトル:お茶の栽培 [1min]



お茶の栽培

宇治は温暖な気候で水はけの良い傾斜地であったことからお茶の栽培に最適で、最高級の品質のお茶が栽培されています。

AV04-02

お茶の栽培について（露天栽培）[1.5min]



露天栽培

露天栽培は芽が出て摘み取るまで日光の下で育てます。



5月

苦
甘

一番茶の後に積まれる茶葉は、光合成を十分に行い、アミノ酸が「カテキン」に変換され、しっかりと渋みのある爽やかな味わいになります。



露天栽培では摘採機を使い、効率よく摘採を行うことが一般となっており、



摘採された茶葉は、煎茶、番茶に加工されます。

お茶の栽培について（覆下栽培）[1.5min]

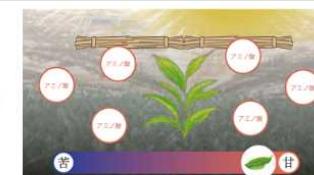


覆下栽培

新芽が噴く4月中旬、茶園全体を藁やよしすで多い日光を遮断します。室町時代から400年以上続く栽培方法で宇治茶栽培の原点として日本遺産に認定されています。




日光を遮ることで茶葉の光合成を抑制し、柔らかく、色鮮やかな茶葉が育ちます。



苦
甘

光合成を抑制するため、苦みや渋みの元となるカテキン類の増加を抑え、その分、旨味成分のアミノ酸類の含有比率が増加し、深みのある甘いが特徴です。



覆下栽培では手摘みにより、一つ一つ丁寧に摘採されるため、高品質の茶葉のみを使用した極上のお茶が作られます。



玉露や抹茶などの高級茶にはこの覆下栽培で育てられた茶葉が使われます。

・お茶が出来るまで

・玉露・煎茶と碾茶(抹茶)が出来るまでをグラフィックと映像で紹介し、それぞれの製法の違いを知る。

また、宇治茶手もみ製茶技術(京都府指定無形文化財)も紹介。比較して見ることで手もみの工程がそのまま機械化されていることを理解する。

●展開イメージ

センサー
プロジェクター(壁面に投影)
グラフィック

●センターの前に立つとコンテンツがスタート。プロジェクターで壁面に映像が投影される

●投影イメージ

タッチアイコンを触ると各工程のマッピング映像が流れます

センサー
プロジェクター
壁

壁面にタッチするとアニメーションが動く

お茶ができるまで

できるまで

お茶が

蒸す

揉む

乾燥

運別

乾燥

仕上

完成

抹茶

玉露

(合組)

煎茶

加工

センサー

揉む

蒸す

乾燥

運別

乾燥

仕上

完成

抹茶

玉露

(合組)

煎茶

・宇治茶手もみ製茶技術(映像)

- ・京都府指定無形文化遺産である「宇治茶手もみ製茶技術」を映像で紹介。
- ・どれだけの手間をかけて作られているのかを追うことで、宇治茶ブランドの理由を改めて実感してもらう。

**モニター(映像)
正面、天板2面で構成**

映像は4分程度。ナレーションあり。日英字幕を想定。

タイトル 手もみ製茶法の工程解説

宇治手もみ製茶技術

宇治手もみ製茶法の工程を順に表示
「宇治茶は普通のお茶より工程がいくつか多く…」

手もみ製茶法の工程解説

ます茶葉を蒸します

一回の手もみに3キロほど使用

茶葉のかたまりかでてくるので

どれだけの手間がかかるお茶なのかを伝えるために経過時間も画面に表示

「工程のうち最も時間がかかる部分です」

完成

茶に手順をかけていきます

茶葉のかたまりがでてくるので

これは宇治だけに見られる工程で

焙炉に葉を広げしっかり乾燥させます

宇治ならではの工程もしっかり解説
「宇治だけに見られる工程で香味をよくしたり
色味を良くするのに大事な工程です…」

「ここまで作業は約4時間。茶の葉を広げ
時々裏返しながら乾燥させていきます…」

宇治茶はこのように手間暇かけて

「この手順ではこのあと『片手まくり』の工程もいれ
入念に繰りをかけていきます」

「この工程ではお茶の葉の蒸れや
上乾きを防ぎながら…」

打合せ資料につき版権未処理のため画像の取り扱いはご注意ください。

・お茶にかかわる人々(グラフィック)

- ・お茶が消費者のもとに届くまでには、茶農家だけではなく茶商、茶屋などさまざまな人々が関わっている。
- ・各工程ごとに代表となる方をとりあげ、その仕事について紹介する。



【茶屋イメージ】

お茶と飲み手に寄り添い、宇治橋を渡る人々にお茶の素晴らしさを伝えます。

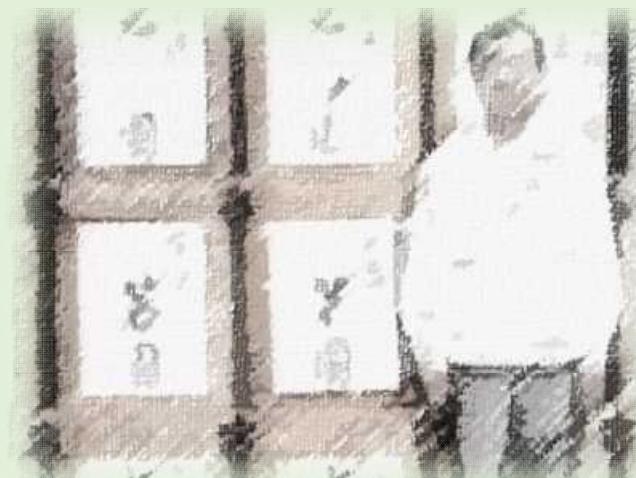


- ・茶農家の仕事
- ・茶商の仕事
- ・茶屋の仕事 など3種類程度を想定。

それぞれ写真つきで解説を行う。

【茶商イメージ】

ブレンド技術の難しさと理想の茶づくり、未来の作り手への想いを語る



【茶農家イメージ】

本葺覆下栽培農家の、手間を惜しまない茶づくりへの想いを伝える



●お茶の解剖

・お茶を科学的に解剖。色や味、香り、成分、効能等、何気なく感じているものを分析し、宇治茶の秘密に迫る。

●宇治茶トリビア

・宇治茶とお茶の歴史に関することなどを、茶櫃をモチーフにしためぐりパネルや引き出し展示として紹介する。



●お茶の解剖

- ・お茶を科学的に解剖。色や味、香り、成分、効能等、何気なく感じているものを分析し、宇治茶の秘密に迫る。



・「色」「味」「香り」「温度」「成分」「お茶と健康」など、いくつかの項目に分けて、お茶の成分とその効能について解説。

・なるべくグラフィックでわかりやすく紹介し、お茶は健康にいいことを知ってもらう。

・参考

お茶のビタミン量表

種類	A β-カロテン当量 (μg)	C (mg)	E (mg)	B1 (mg)	B2 (mg)	ナイアシン (mg)
抹茶	29,000	60	28.1	0.60	1.35	4.0
玉露	21,000	110	16.6	0.30	1.16	6.0
煎茶	13,000	260	68.1	0.36	1.43	4.1

文部科学省の五訂日本食品標準成分表による（茶葉100g中の成分）

お茶の主成分表（単位g）

種類	タンニン	カフェイン	タンパク質 アミノ酸	脂肪	たんぱく質 炭水化物	水分	灰分
抹茶	10.0	3.2	30.6	5.3	38.5	5.0	7.4
玉露	10.0	3.5	29.1	4.1	43.9	3.1	6.3
煎茶	13.0	2.3	24.5	4.7	47.7	2.8	5.0

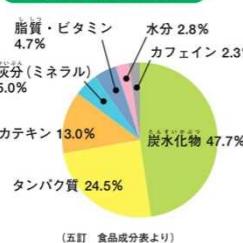
文部科学省の五訂日本食品標準成分表による（茶葉100g中の成分）

・参考イメージ



Discover Japan_TRAVEL お茶の京都 より

お茶の成分のはたらき



★ビタミンA(β-カロテン)
水にとけない
肌に水分を与え、呼吸・消化器官をじょうぶにします。

★ビタミンC
水にとける
疲れをとったり、風邪を予防したり、肌を白くするなどのはたらきがあります。

★ビタミンE
水にとけない
老化を防ぎます。

★ビタミンB1
糖分をエネルギーに変えます。

★ビタミンB2
成長を活発にします。

★カテキン(タンニン)
渋み成分でありタンニンともいいます。殺菌や腸のはたらきを整える作用があり、食中毒を防いだり、ガンや生活習慣病の予防に効果があります。

★フッ素
歯みがき剤に入っている成分と同じで、虫歯を予防します。

★フラボノイド・ミネラル(カリウム・カルシウムなど)

フラボノイドは口臭の予防、ミネラルは新陳代謝を活発にします。

●宇治茶トリビア

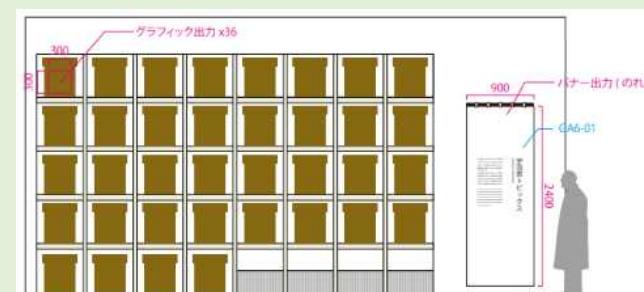
- ・宇治茶とお茶の歴史に関することなどを、茶櫃をモチーフにしためくりパネルや引き出し展示として紹介する。

- ・上段は造作、中段はめくりパネル、下段は引き出し式など、高さに応じて展開方法を変える。
- ・めくった先に模型や映像を展開することで、楽しみながらお茶について学んでもらう。

■トリビア項目案

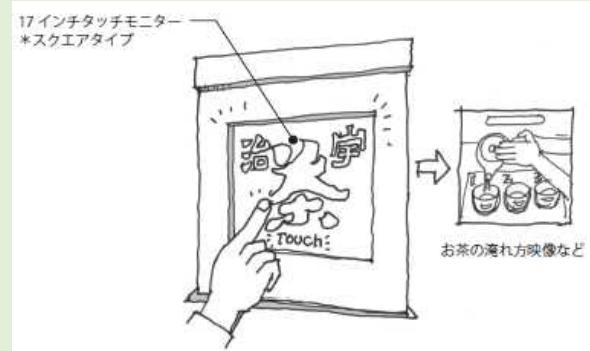
2	お茶の淹れ方	1 抹茶、玉露、煎茶それぞれの淹れ方	グラフィック 映像	GA6-02 AVA-07
3	植物としてのお茶	1 植物としてのお茶	グラフィック 体験アイテム	GA6-03 TA-01
4	蛇口からお茶が出る！？	1 お茶飲み場について	グラフィック 体験アイテム	GA6-04 TA-02
5	小堀遠州と朝日焼	1 小堀遠州と朝日焼	グラフィック 体験アイテム	GA6-05 TA-03
6	お茶壺謎中	1 お茶壺謎中って？	グラフィック 体験アイテム	GA6-06 TA-04
7	宇治の茶摘み歌	1 宇治の茶摘み歌	グラフィック 体験アイテム	GA6-07 TA-05
8	宇治茶まつり	1 宇治茶まつり	グラフィック 体験アイテム	GA6-08 TA-06
9	将軍さまのお茶壺	1 茶壺について	グラフィック 体験アイテム	GA6-09 TA-07
10	醸茶と茶香船	1 醸茶と茶香船	グラフィック 体験アイテム	GA6-10 TA-08
11	カフェのはじまり ー服ー鉢	1 一般ー鉢とは	グラフィック 体験アイテム	GA6-11 TA-09
12	絵ハガキに描かれた茶づくり	1 絵ハガキに描かれた茶づくり	グラフィック 体験アイテム	GA6-12 TA-10
13	茶の木人形	1 茶の木人形	グラフィック 体験アイテム	GA6-13 TA-11
14	宇治茶と広告	1 宇治茶にまつわる広告	グラフィック 体験アイテム	GA6-14 TA-12
15	生活の中で使えるお茶	1 生活の中で使えるお茶	グラフィック 体験アイテム	GA6-15 TA-13
16	お茶を使った料理・お菓子	1 お茶を使った料理・お菓子	グラフィック 体験アイテム	GA6-16 TA-14
17	お茶にまつわる小話	1 「雀の葉隠れ、カラスの葉隠れ」「薄茶の白と濃茶の昔」「茶柱が立つ」	グラフィック 体験アイテム	GA6-17 TA-15
18	お茶とことわざ	1 お茶を濁す、お茶の子さいさい、へそで茶をわかす	グラフィック 体験アイテム	GA6-18 TA-16
19	七若園と七名水	1 七若園と七名水	グラフィック 体験アイテム	GA6-19 TA-17

■イメージ



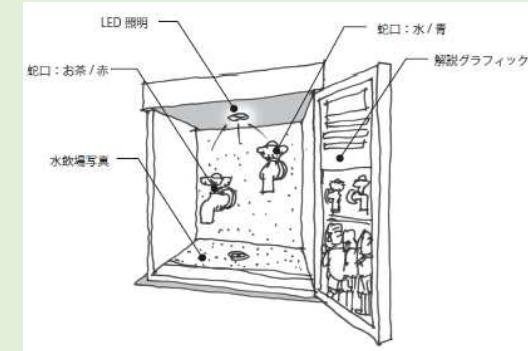
●宇治茶トリビア展示例

・お茶が出来るまで



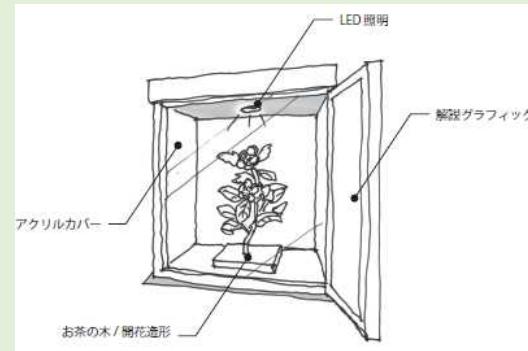
お茶の淹れ方を映像で紹介

・蛇口からお茶が出る？



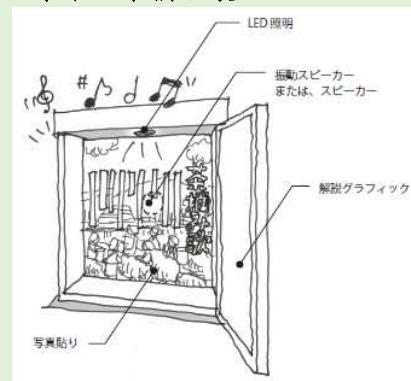
宇治の小学校に設置されているお茶飲み場を紹介

・植物としてのお茶



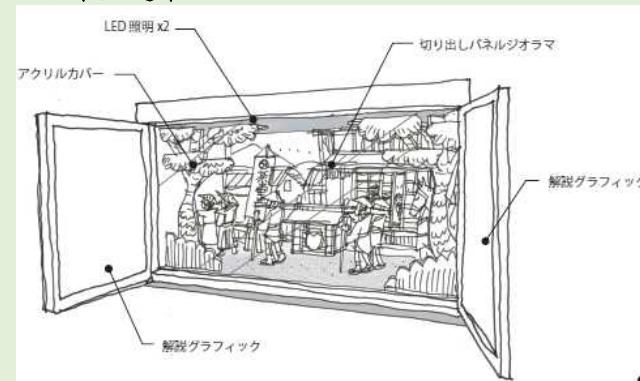
植物としてのチャノキについて紹介

・宇治の茶摘み歌



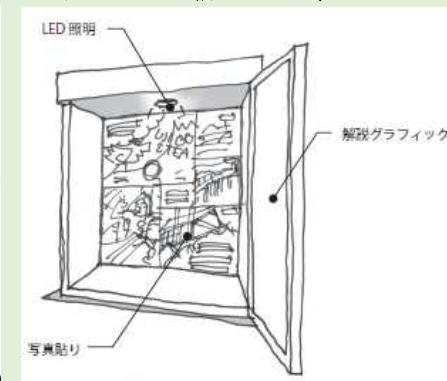
宇治の茶摘み歌を紹介

・お茶壺道中



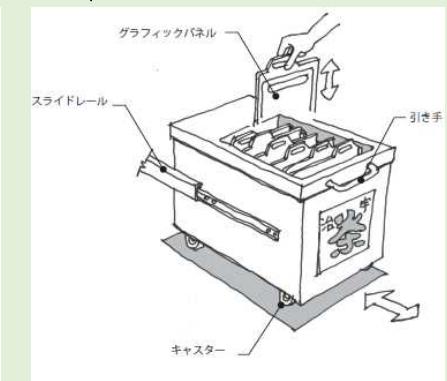
お茶壺道中の様子とその関連事項について紹介

・絵ハガキに描かれた茶づくり



明治時代の絵ハガキから当時の様子を紹介

・お茶にまつわることわざ



各種ことわざを紹介する引き出し展示

■歴史ゾーン展示展開イメージ

●シンボル展示

- ・歴史展示の導入として巨大な10円玉を設置し、来館者の意識の切り替えを行う。

●記紀にも登場する宇治

- ・菟道稚郎子の伝説を宇治の地名の由来などとともに伝え、宇治神社、宇治上神社、菟道稚郎子の墓などの関連史跡も合わせて紹介する。

●平安時代の宇治

- ・平安時代、宇治は貴族の別業都市となり独自の文化を花開かせたことを伝えるとともに、宇治川を基軸とした当時の街づくりについても紹介する。

●宇治橋をめぐる戦い

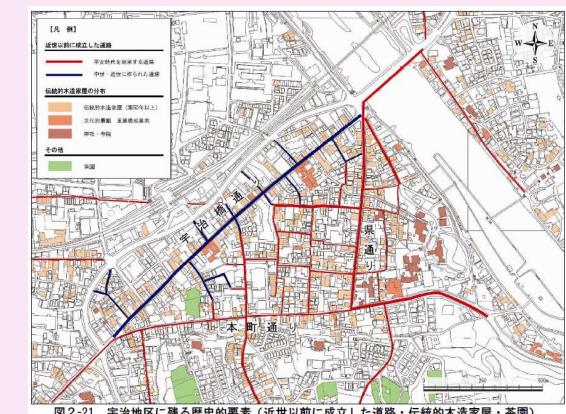
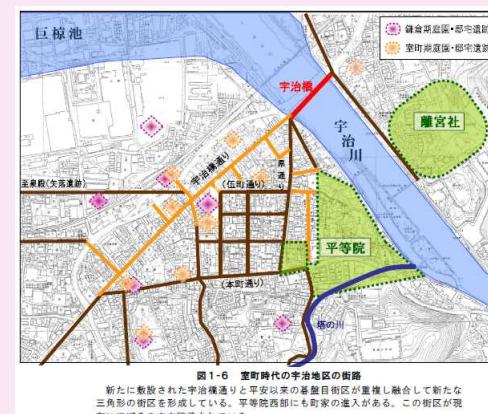
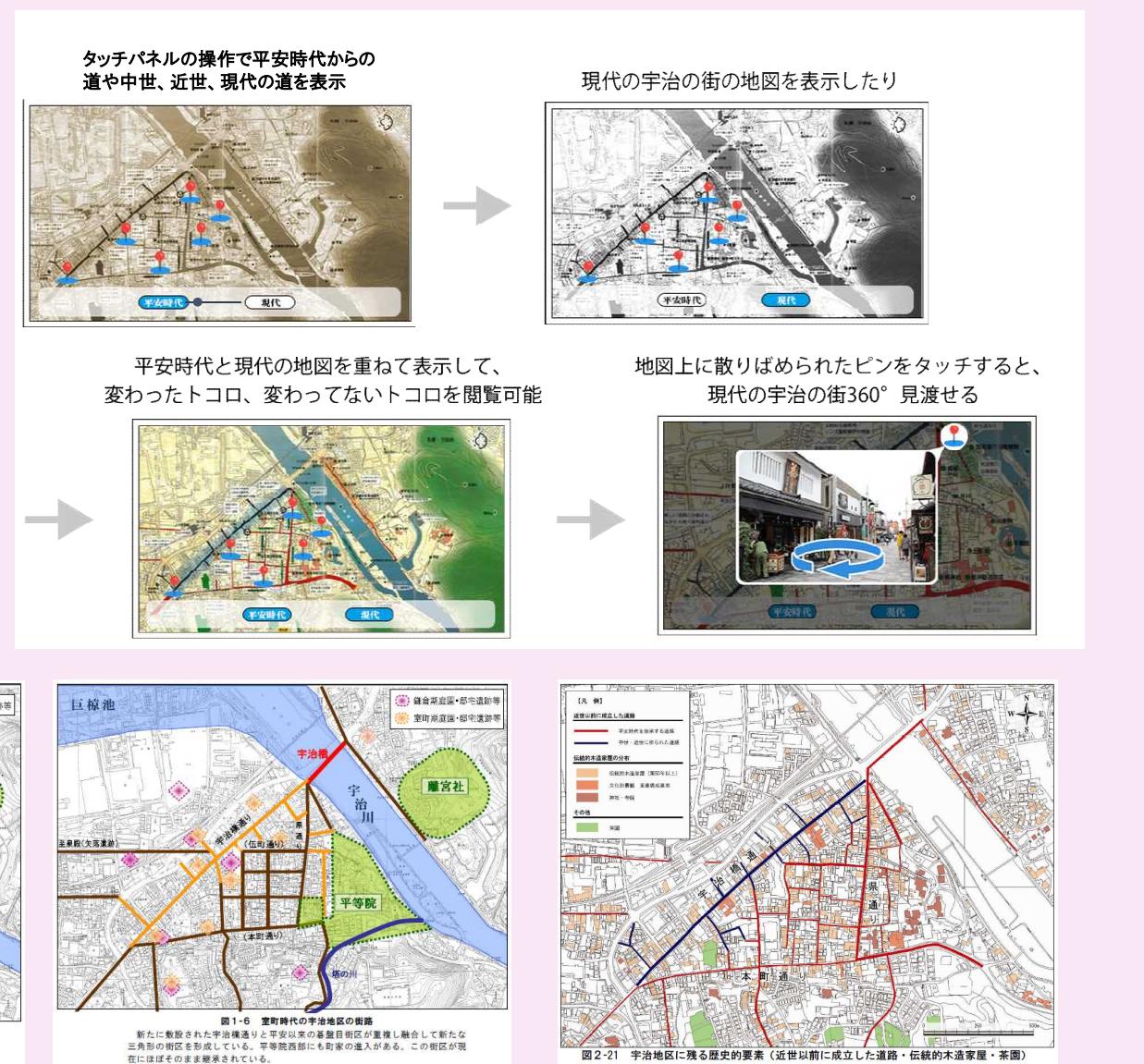
- ・交通の要所であった宇治橋は度々争いの舞台になったことから、宇治橋をめぐる戦いと宇治橋にまつわる物語を紹介する。



●平安時代の宇治

・宇治の街 今昔

- ・今と昔の宇治市の地図を重ねて表示し、切り替えられるようにすることで、平安時代から受け継がれる宇治の街並みや文化を感じ、宇治の歴史の重層性を学ぶコンテンツ。
- ・地図上に何か所か360° 周囲を見渡せるスポットを設けることで、実際の街と現代の街を見比べながら閲覧できるようにする。



打合せ資料につき版権未処理のため画像の取り扱いはご注意ください。

●太閤堤とまちづくり

- ・「太閤堤はなぜ必要だったのか？」「どうやって作ったのか？」「昔と今でどんな変遷を経てきたのか？」などを映像とグラフィックで解説。
- ・太閤堤についての疑問や謎に「太閤秀吉」が答えていくことで、太閤堤が整備された目的と、その発掘の歴史をわかりやすく伝える。

●名所図会に見る宇治

- ・江戸時代の宇治について紹介するとともに、名所図を元にしたコンテンツで周遊観光を促す。
- ・「宇治ペディア」とも連動したコンテンツとし、宇治ペディアで紹介する場所についても四季折々の美しさや祭礼の様子などを映像で伝える。



●太閤堤とまちづくり

- ・「太閤堤はなぜ必要だったのか？」「どうやって作ったのか？」「昔と今でどんな変遷を経てきたのか？」などを映像とグラフィックで解説。
- ・太閤堤についての疑問や謎に「太閤秀吉」が答えていくことで、太閤堤が整備された目的と、その発掘の歴史をわかりやすく伝える。

正面映像（モニタ）

地図グラフィック
太閤堤と宇治川の変化を解説

・正面映像イメージ

センサーによって人の接近を検知すると
豊臣秀吉が来訪者に話しかけてくる

正面映像で秀吉が語り手となりながら
来訪者に話しかけるように解説をしてくれる

解説内容に合わせて、
実写の資料写真がインサートされます

※屋外の史跡を合わせて紹介する

図1-8 太閤堤と宇治川の川筋変化

参考 宇治市歴史的風致維持向上計画

●名所図会に見る宇治

- ・日本の歴史上、重要な舞台となった宇治。様々な時代でどんな出来事が起きたのか。歴史の重要性を伝えるとともに、各所に訪れてもらえるよう興味をうながす映像コンテンツ。
- ・現代に残る名所図会をベースとして展開。名所図会に描かれた土地にまつわる歴史とその周辺の観光名所を実写映像とナレーションで紹介。
- ・「宇治ペディア」とも連動したコンテンツとし、宇治ペディアで紹介する場所についても四季折々の美しさや祭礼の様子などを映像で伝える。



壁面映像

名所図会の紹介



壁面映像

現在の様子を美しい映像で紹介

宇治橋の紹介
宇治上神社の紹介







宇治上神社の紹介
三室戸寺の紹介








宇治橋の歴史や逸話などを紹介
宇治橋にまつわる逸話である橋姫伝説や、鶴飼、十三重石塔などを紹介
宇治川沿いから「さわらびの道」を歩くと宇治上神社が見えてきます。
(宇治名所図を活用した導入)

宇治上神社が日本最古の神社建築であることや宇治神社と対であること、菟道稚郎子と見返り兎の伝説などを紹介。
(菟道稚郎子の墓も紹介)周辺の観光名所として興聖寺、恵心院についても触れる。
宇治上神社から北東へ行くと、あじさい寺として知られる三室戸寺があります。(宇治名所図を活用した導入)
三室戸寺の四季折々の美しい様子やハス酒などを紹介。
三室戸寺内にある浮舟古跡から源氏物語ミュージアムへつなげる。

打合せ資料につき版権未処理のため画像の取り扱いはご注意ください。

●名所図会に見る宇治

萬福寺の紹介



平等院の紹介



宇治の市街地からすこし離れ、黄檗へ向かうと萬福寺があります。(宇治名所図を活用した導入)

萬福寺は1661年に隱元隆琦禪師によって黄檗宗の寺として開創されたことを紹介とともに、
隱元禪師によってもたらされた様々なものや、明朝様式の伽藍建築と普茶料理をはじめとする黄檗文化を紹介。

平等院の紹介



再び宇治橋の紹介



周辺の社寺仏閣として県神社とその祭礼を紹介。

再び宇治橋の紹介



宇治橋のたもとにある通園茶屋と宇治橋で行われる宇治茶まつりを中心に、
お茶のまち・宇治のイメージを想起させながらエンディングへ。

スクリーン横にストーリー中に出て来た図絵を設置。QRコードが付いており、
URLにアクセスすると「名所図」のコンテンツに登場するスポットと連動したコンテンツが楽しめる。

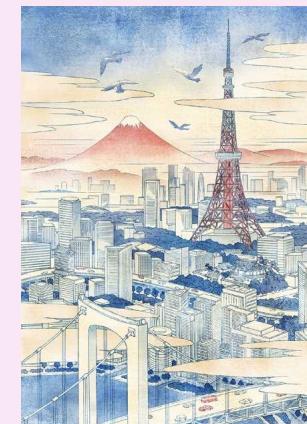
観光を促すために、
各所で使える記念フレームで写真撮影できる機能を付けます。



撮影したスポットは訪問マークがついていき、
名所図をスタンプラリー的に遊ることができます。

すべての名所をめぐったのち、もう一度宇治橋へ。(宇治名所図を活用した導入)

- ・現代の宇治をモチーフとした新名所図を作成し、待機映像とする。
イラストに動きをつけ、アニメーションとして展開する。



新名所図イメージ

●宇治ペディア

- ・宇治の歴史や観光にまつわる様々な情報や観光名所などをグラフィックで紹介、宇治を深くしってもらうコーナーとする。
- ・企画展示コーナーとして、入替可能な展示ケースを設置する。

■イメージ



壁面グラフィックで展開

■トピック案

2 宇治橋の歴史	宇治橋の歴史	宇治橋を中心にして歴史を概観する。
3 宇治川の鵜飼	鵜飼のはじまり	鵜飼は平安時代にはじまり、今日にも続いていることを説明する。
	うみうのウッティー	日本初 人工ふ化による海鶴のウッティーについて紹介する。
4 かつての宇治川	宇治川の網代	かつて宇治川の風物詩とされた網代について紹介する。
	宇治川の螢狩り	かつて宇治川は螢の名所であったことを歴史資料から紹介する。
5 故郷と十三重石塔	水車のまちだった宇治	宇治はかつて水車のまちとして知られ、宇治川には多くの水車があったことを紹介する。
	宇治晒し	かつては宇治川で布晒しをする風景が宇治川の風物詩となっていたことを紹介する。
6 明惠と高山寺	殺生禁断の教え	塔の島に立つ十三重石塔は、殺生禁断と橋の安全を祈念して建てられたものであることを紹介する。
	塔の島の変遷	十三重石塔が建つ塔の島は氾濫などにより形を変えつつ今日に至っていることを紹介する。
7 巨椋池	巨椋池と人々の暮らし	巨椋池の概要について紹介するとともに、巨椋池があった当時の絵図などから、巨椋池とともに暮らしていた人々の様子を紹介する。
	巨椋池の干拓	巨椋池が昭和期に干拓されるまでの歴史と、どのように干拓が行われたのかを紹介する。
8 電気を生み出す川	宇治電の誕生	宇治川は電気を生み出す川でもあり、今日でも3ヶ所の水力発電所が設置されている。これらの発電所の歴史や、関西電力の前身となった宇治川電気株式会社について紹介する。
	天ヶ瀬ダム	宇治市街に近い都市型ダムであり、淀川本流に建設されている唯一のダムである天ヶ瀬ダムについて紹介する。
9 宇治のなりたち	宇治の地形	宇治の地形のなりたちについて紹介する。
	宇治の地名	宇治、木幡など、宇治の地名について由来を紹介する。

打合せ資料につき版権未処理のため画像の取り扱いはご注意ください。

●宇治ペディア

10 萬福寺	萬福寺と黄檗宗	黄檗山萬福寺は1661年に中国僧隱元によって開創された。その開創の経緯や他の禅宗と黄檗宗との違いを紹介する。
	隱元隆琦	萬福寺を開創した隱元隆琦について、その功績や生涯について紹介する。
	隱元が持ち込んだもの	隱元は多くのものを日本に持ち込み、江戸時代の文化全般に影響をもたらしたことや、隱元豆やスイカ、レンコンなど、身近な野菜も禅師の請来によるものであることを伝える。
	明朝様式の伽藍建築	萬福寺の建造物は中国の明朝様式を取り入れた伽藍配置であり、創建のままを今日に伝える禅宗伽藍建築群として国的重要文化財に指定されていることから、その特徴的な箇所を紹介する。
11 三室戸寺	三室戸寺の開創	建立から今日に至るまでの三室戸寺の歴史について紹介する。
	狛兎、狛蛇、宝勝牛	狛兎、狛蛇、宝勝牛といった三室戸寺におかれた像について紹介する。
	觀音様の足の裏	三室戸寺の觀音様は正座した珍しい姿をしており、衣の裾から足の裏がのぞいている。平素は見ることができないが、紅葉の時期の特別拝観で見ることができることを紹介する。
	三室戸寺のあじさい	三室戸寺はあじさいの名所として知られ、あじさい寺とも呼ばれている。美しいあじさい園の風景や、その他四季折々の花の風景についても紹介する。
12 興聖寺	道元による開創	道元禅師が深草に開創した興聖寺が、のちに淀城主の永井直正によって宇治に再興された経緯や、所蔵する重要文化財について紹介する。
	紅葉の名所	興聖寺の両側に古木が茂り、紅葉のトンネルのようになるため、紅葉の名所として知られており、宇治の十二景のひとつとなっていることを紹介する。
13 白川金色院	中尊寺金色堂のモデルは宇治？	平等院の奥院として創建された白川金色院は、中尊寺金色堂のモデルとなったとされるが、その後焼失したことを紹介する。
14 国指定史跡 宇治古墳群	宇治古墳群	国指定史跡に指定されている宇治古墳群とその出土品について紹介する。
15 名勝宇治山	名勝宇治山	仏徳山、朝日山、大平山、横尾山などからなる名勝宇治山を紹介する。
16 藤原家の墓所だった宇治	道長と淨妙寺	藤原氏は早くから木幡の山麓を一族の墓所とし、道長の時代には大きさ・美しさともに平等院の数倍とも言われた淨妙寺を創建したが、応仁の乱で焼失し、幻となったことを紹介する。
17 許波多神社	馬の神社	競馬発祥の神社として競馬ファンや関係者の信仰を集めている許波多神社について紹介する。
18 橋姫神社と橋姫伝説	橋姫神社と橋姫伝説	宇治川の女神である橋姫とその伝説を紹介する。
19 横島城跡	足利幕府のおわり	かつて巨椋池に浮かぶ横島に築かれた横島城は、室町幕府滅亡に至る横島城の戦いの舞台となつたことを紹介する。

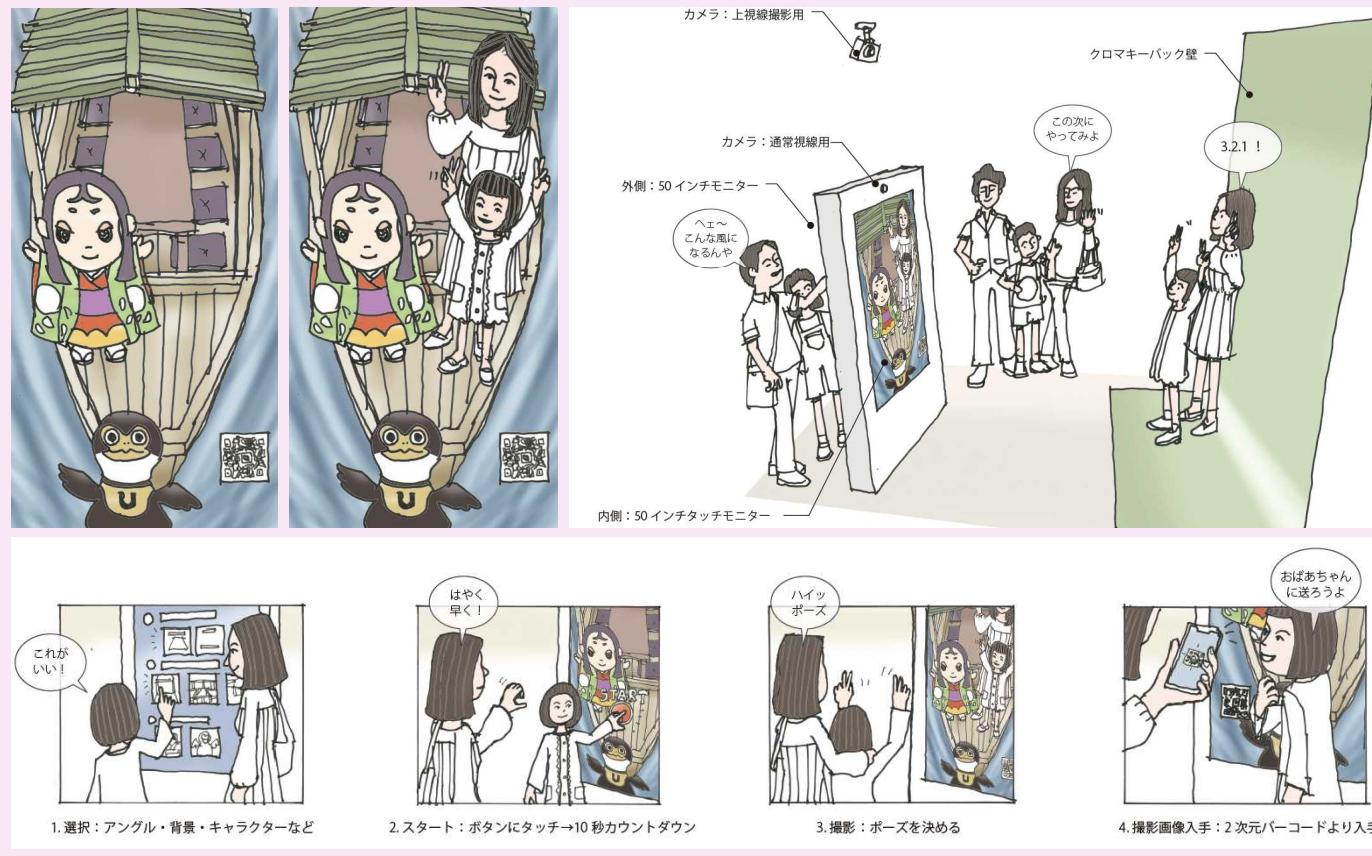
20 鉄眼禪師と一切經版木	日本の印刷技術のバイオニア	今日の明朝体のルーツとなった一切經版木と鉄眼禪師について紹介する。
21 宇治の祭り	あがた祭	毎年6月5日から6月6日にかけて行われる県神社の祭礼であるあがた祭りについて紹介する。
	大幣神事	県神社で毎年6月8日午前中に行われる厄払いの儀式である大幣神事について紹介する。
	宇治川花火大会	1960年から2013年まで開催されていた宇治川花火大会について紹介する。
	宇治田楽まつり	かつて平安時代の代表的な芸能であった田楽の復興をテーマに開催される宇治田楽まつりについて紹介する。
	宇治川さくらまつり	毎年4月第1土日に宇治川中の島一体で開催される宇治川さくらまつりについて紹介する。
22 宇治と鉄道	おとぎ電車	1950年代、宇治川沿いに観光目的で運行されたおとぎ電車について紹介する。
	奈良鉄道(JR奈良線)	今日のJR奈良線の前身となった奈良鉄道について紹介する。
	京阪宇治線	明治9年に開通して以来今日まで運行されている京阪宇治線について紹介する。
	奈良電車(近鉄京都線)	今日の近鉄奈良線の前身となった奈良電について紹介する。
23 宇治にまつわる物語・文化	源氏物語	宇治は源氏物語宇治十帖の舞台であることと源氏物語ミュージアムについて紹介する。
	宇治が詠まれた俳句	宇治は古来より名所として数々の俳句に詠まれていることから、代表的な作品を紹介する。
	宇治拾遺物語	宇治大納言物語、今昔物語、宇治拾遺物語の関係性について紹介する。
	宇治と狂言	「通圓」等、宇治が舞台となった狂言について紹介する。
	白川田楽	12世紀ごろ、白川田楽座と呼ばれる田楽の職業芸能集団が存在し、各地で上演活動を行い、その発達をうながしたことを伝える。
	絵画に描かれた宇治	古来より名所として有名であった宇治は、様々な絵画に描かれていることから、代表的な作品を紹介する。

・トリックフォト

- ・画像合成技術を使用した記念撮影スポットを設置。
- ・ドローンで撮影した上空からのアングルなど、自分たちでは撮影できないアングルで記念写真が撮影できるトリックフォトコーナーとする。

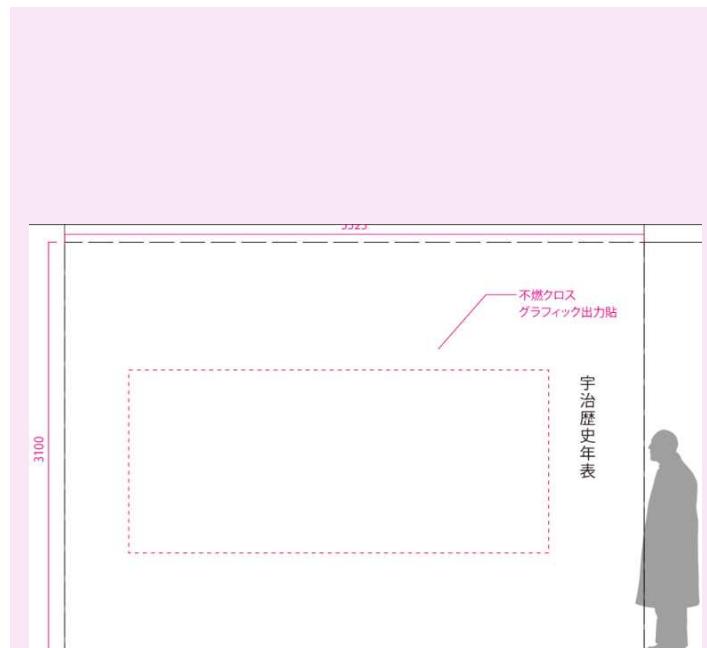
■トリックフォト展開イメージ

- ① トリックフォトの上に立つ
- ② カメラで写した画像は常に確認モニターに表示される
- ③ ポーズなどを確認し、スタートスイッチを押す
- ④ スイッチを押して5カウント後に撮影
 - ・撮影された画像は15秒間、確認モニターに表示
 - ・QRコードを表示してスマホにダウンロードが可能
- ⑤ 撮影済みの画像は1日分をストック
 - ・待機中にランダム表示
 - ・閉館時にデータが削除される



・宇治歴史年表

- ・展示室の出口に歴史年表を設置。
- ・展示室で学んだ歴史の流れを最後に確認できるようにする。



■ガイダンスゾーン

●周遊ガイダンス

- ・タッチパネルディスプレイで周辺情報を手軽に調べることでき、気になった情報や実際にに行ってみたい場所の情報を、来訪者自身のスマートフォンに手軽に保存ができる。
- ・来訪者は自身のスマートフォンを使って、あとからでもスポット情報や行き方などを確認できる。

主な機能

- 観光情報（スポット、コース）
 - 「スマートフォンとの連動（QRコード読み込みによる同期）」
（スポット情報をスマートフォンに送った後もガイドブック的に使用できる）
- 写真投稿/メッセージ投稿
 - 「投稿したものはその場で表示される」
- インフォメーション表示
 - 「お知らせ（テキストベース、写真なし）」
- 名所図コンテンツと連動したスタンプラリー
 - 「名所図としてピックアップしているスポットのみ、
ブラウザでカメラを立ちあけて記念撮影用フレームで写真を撮れる」

タッチパネルディスプレイは3台連動し、それぞれで来訪者が利用できるように設置します。
スポット情報は横向きに緩やかに流れていき、
「川の流れ」想起させるようなアニメーション演出を行います。
スポット情報はカテゴリカラーを設けて分類することで、見た目で分かりやすいデザインにします。



コンテンツ利用の流れ

宇治映えスポットめぐり

宇治ならではの写真映えスポットをめぐるスタンプラリーとして、
見た目の変わったもの・色鮮やかなもの・特徴的な被写体を撮影できるフォトスポットをご案内します。

宇治周辺の観光を促進するために、
記念フレームで写真撮影できる機能を付けます。

撮影したスポットは訪問マークがついていき、
スタンプラリー的に巡ることができます。





興聖寺



橋寺



縣神社



十三重塔



三の間



大吉山



亀石

紹介スポット案
歩くによる宇治周遊の範囲内で、いわゆる著名観光スポット以外も紹介し周遊観光を促進する。